

LJサンターナ氏の容疑明らか

750万ドルの収賄か 夫人のメモ内容が決め手に

22日に行われたラウア・ジャット作戦(LJ)第23弾で逮捕令状が出た、ルーラ前大統領とジウマ大統領の選挙参謀をつとめたジョアン・サンターナ容疑者が、23日朝、逮捕された。連邦警察は22日、パラナ州で記者会見を行い、容疑の全貌を明らかにした。23日付の字紙が報じている。

ドミニカから帰国後逮捕



22日、逮捕されるズウィ容疑者 (Fernando Frazão/ Agência Brasil)

連邦警察の発表によると、サンターナ夫妻に共謀した賄賂は総額750万ドルに上るといわれる。ひとは昨日も報じたオデブレイト社によるもので、同社の二つのオフィスである「イノヴェーション」「クリエーション」を経由して12年4月13日から13年3月8日に支払われた金は、計300万ドルに上っているという。もうひとつは22日に逮捕されたロビニストのズウィ・スコニキ容疑者を経由したもので、13年9月25日から14年11月4日に450万ドルの賄賂を受けとつて

連邦政府 VZ製造に1億ドル資金援助

VZへの転用計画も発表

【既報関連】連邦政府と聖州政府は、聖市ブタントン(B)研究所が開発中で、テスト最終段階に入ったデング熱ワクチン(VZ)を、ジカ熱ワクチン(VZ)を兼ねた多量型に転用する可能性を探っていると23日付の字紙が報じた。VZをVZも兼ねたワクチンとの意向は、ジウマ大統領(P.T労働者党)とアウキミン聖州知事(P.M.D.B.民主運動

ギランバレーの死者も確認



デング熱ワクチン検査を見守るジウマ大統領(右) (Roberto Stuckert Filho/PR)

党の出席を得、22日に聖市で開催されたイベントの中で発表された。この席では、VZ製造に保健省予算から1億ドルの資金援助を行う事が発表された。デング熱と同じネットワークの資金援助を受けるVZの開発に国が資金を供給するも初めてだ。サンパウロ総合大学(USP)研究員で、シリオリバネス病院の伝

染病医でもあるエスベール・カラス氏は、「VZからVZも製造するアイデアは大変興味深い。そのためにはジカウイルスの特質を見極めなくてはならない」と語った。15年のデング熱患者数は160万人を超え、最も記録を更新した。多記録は小頭症などと

なり、世界的な反響を呼んだ。昨年10月以降、現在までに確認された、ジカ熱感染との関係が明らかとなった小頭症児の症例は508件、3935件は現在も調査中だ。B研究所でのVZ開発

いたという。賄賂が振り込まれたのは、サンターナ容疑者と同氏夫人のモニカ・モウラ容疑者が受取人ととなっているオフショア・シエラビル・ファイナンス」の口座だ。モウラ容疑者はサンターナ容疑者が伯国内に持つ広告会社の共同経営者でもある。サンターナ夫妻は、LJ関係で労働者党(P.T)が受けるべき賄賂の一部だったのではないかと疑われている。連邦警察関係者は22日、(所得申告が漏れて疑視されている)サンターナ氏の国外送金を要請する意向だ。

ルラ前大統領とジウマ大統領の選挙参謀を務めたジョアン・サンターナ氏の逮捕で、ルーラ氏やジウマ氏の周辺もかなり慌しくなっている。特にルーラ氏に関しては、連邦内でもラウア・ジャット作戦の捜査対象に含め

はジウマ大統領とは無関係だと弁明した。一方、選挙検察局と野党側は、選挙高等裁判所(TSE)が審議中の14年大統領選挙中のジウマ陣営の不正疑惑問題の証拠物件に、サンターナ夫妻の逮捕に結びついた種々の書類も加えるよう要請する意向だ。

ドゥセ川での漁は禁止
鉱滓ダム決壊で不安残り

連邦検察庁の要請を受け、エスピリトサント州ドゥセ川河口での漁を禁止する暫定令を出した。22日付アジェンシア・ブラジルが報じた。暫定令が影響するのはアラクル

ストリニャーレスの2市で、調査のための捕獲以外の漁は禁止された。連邦検察庁によると、15年11月に起きたミネラス州マリナ市のサマルコ社の鉱滓ダム決壊後、ドゥセ川に流れ込

んだ大量の汚泥による汚染状況に関する具体的な調査結果はまだ出ておらず、魚や貝などの安全性が保証出来ないため、無期限で禁漁とするよう要請したという。

ドゥセ川流域で漁をしてきたダム決壊で仕事が出来なくなった漁師達に6月まで毎月、最低賃金20%を加算)と基礎食料品セット(セスタ・パジカ)を支給する事で合意が成立している。

22日にはミネラス州の近での実態調査は継続して行われているが、健康被害の有無など、安全性を保証してくれるような科学的なデータや、水中の動物植物絶滅の可能性に関する最終報告はまだ出ていないという。

東西南北

北車椅子の高齢女性撃たれる

聖市北部ジャサナン区バルケ・エドゥ・シャイヴス地区で21日夜、82歳の車椅子の女性が強盗に襲撃された。23日付字紙が報じた。

伯国はワースト5位

【報道の自由】 報道関係者1年で8人死亡

伯国は2015年、「報道の自由」に関して世界でワースト5だ、23日付エスタド紙が報じている。

ブラジル・ラジオ・テレビ放送協会(ABERT)が発表した資料によると、2015年は、報道関係者が報道内容などをめぐり、暴力や威嚇にあたる行為を受けた件数が116件に上ったという。

116件の中には、その職業や報道内容のせいを命を落とす例も含まれ、ジャーナリスト1人、ラジオ放送者4人、ブログライター3人の計8人の死亡が確認された。国際的に見れば、シリア

はランボルギーニの歴史の中で最大の売上を記録した人気車で、2013年で生産が終了後は価値も上がっている。盗難車は見事なオレレンジの車体で、持ち主は相当な資産家に限られるが、贈賄問題が連日報道されるから降水確率が下は、週末に降る可能性がある。残っているのは、観に行くと時が気をつけて

水野龍

Ryo Mizuno

O Precursor da Imigração Japonesa no Brasil

「水野龍」のポ語版伝説

ポ語版特別価格 **R\$ 25,00**

ニッケイ新聞社

感謝を込めて15周年記念

発刊の本

ニッケイ新聞 NIKKEY SHIMBUN

お問い合わせ・お申し込みは (11) 3340-6060

上塚周平

Toru Nomio

O Homem da Mata Selvagem

ブラジル日本移民の父 上塚周平翁の生涯をポ語で

ポ語版特別価格 **R\$ 25,00**

A VERDADE

SOBRE A GUERRA DO PACÍFICO

太平洋戦争の真実をポルトガル語で

- 真珠湾攻撃以前に為された対日軍事行動
- 開戦前に承認されていた日本の市民への爆撃計画
- 日本への経済封鎖という戦争行為
- アメリカ自身すら認める東京裁判の不当性
- 世界で初めて人種差別撤廃を求めた日本
- 現代日本の悲劇を生んだ二大要素
- 迫害された日本人移民 など

ニッケイ新聞編集部・日系書店で販売中!

- 太陽堂 (11)-3208-6588
- 高野書店 (11)-3209-3313
- フォノマギ竹内書店 (11)-3104-3399

R\$50

ニッケイ俳壇

(877)

富重久子 選

森川 玲子

◎風鈴の舌に短冊蛇笏の句
◎谷深き旧街道やクワレズマ
◎炎天に黒きべールや修道尼
◎イタリアのまん丸茄子濃むらさき
◎新宅の食器も増えて小正月

◎「風鈴」といへばすぐ南部風鈴を思う
◎我が家にも移住する時餞別に貰った南部風鈴がまだ健在で、六十年近くの我が家の歴史を思ひながら良い音色で奏でてくれる。

◎「くわねの秋の風鈴なりけり 飯田蛇笏」
◎この句は飯田蛇笏の俳句の中でも最も有名な句で、未だに忘れられず心に残る代表作である。かすまの本当に好きな俳句であった。

◎この作者の句は簡潔な読み振りでありながら、心に残る巻頭俳句に相応しい句である。
◎二句目、「クワレズマ」の真つ盛りである。海岸に出る街道筋には見事な花盛りを見る事ができる。又作者の農地に行く街道の「谷深き旧街道」にも、この紫の見事なクワレズマが見られる写生俳句であろう。共に巻頭俳句として推奨させて頂く。

◎「書初や口許乾と きつと」筆おろす
◎思はざる特選メダルのお年玉
◎神の泉良き名を貰ひ滴れる

◎「河鹿啼く山家懐し町住た
◎幾山河越えし人生年新た
◎分水嶺川の流れも夏瀬音
◎忘年会去年の友も今ははじ

◎「一河鹿」は溪流に住んでいる、瘦せた蛙の一種であるが雄の鳴き声が美しい。
◎何時か葬式の帰り道、両側の並木の中から頻りに河鹿の音が聞こえて懐かしかった。

コトバ

肩並べ端居の夫と会話なく
湯上りの肌馴染めらうちわ風
◎新年になって初めて、筆で字を書いたり絵を描いたりすることを「書初」というが、それは二日目くらいに行つた。

◎お年玉の様に喜ばれた、嬉しくおめでたい佳句であった。
◎「口許乾」といふ言葉の良い表現である。
◎二句目の「特選メダル」の俳句は、全俳句大会での特選の賞品としてのメダルである。

◎秋刀魚焼く夫が履かずの杉の下駄
◎差し水にげまどつてる金魚かな
◎水中花冷たき水を注ぎけり
◎宵月や馬車が南風にもどる刻

◎「秋刀魚焼く」と可なり煙が立つので、庭向きの窓を開けて焼く。ふとそこに新しい杉の木の下駄が落ちて、亡くなった主人の事を思い出したという句であった。

◎「一里山」とは懐かしい呼び名、そんな都町にふるさとをいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

セリオラシ

た。この句のように、山家から移つて町住まいになると、この懐かしい河鹿の声は届かないので、河鹿の啼くこの頃は特に田舎暮らしが恋しい作者なのであろう。しみじみとした佳句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。
◎「ふるさと」はいつか訪ねたいという句。

ツツ

◎「ツツ」を一度見れば、お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

◎カラフルな傘がならんで浜極暑
◎海山の香り煮込みし雑煮かな
◎初句会笑顔で挨拶あけしゆする
◎初鏡しわをのぼして髪を剃る

◎夏ともなれば海辺の砂浜には、色彩豊かで色鮮やかな傘が所狭しと広がつて美しい。夏休みに入ると、親子連れのグループがそれなりに楽しむ姿が微笑ましいが、私にも子供時代の頃はそんな時期もあつたと、この俳句を読み思い出された。

◎「カラフル」な、若々しい佳句である。
◎「カラフル」な、若々しい佳句である。

◎「カラフル」な、若々しい佳句である。
◎「カラフル」な、若々しい佳句である。

◎「カラフル」な、若々しい佳句である。
◎「カラフル」な、若々しい佳句である。

◎「カラフル」な、若々しい佳句である。
◎「カラフル」な、若々しい佳句である。

◎「カラフル」な、若々しい佳句である。
◎「カラフル」な、若々しい佳句である。

◎「カラフル」な、若々しい佳句である。
◎「カラフル」な、若々しい佳句である。

◎「カラフル」な、若々しい佳句である。
◎「カラフル」な、若々しい佳句である。

◎「カラフル」な、若々しい佳句である。
◎「カラフル」な、若々しい佳句である。

◎「カラフル」な、若々しい佳句である。
◎「カラフル」な、若々しい佳句である。

バルマス

◎「バルマス」は度見事がある。お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

◎「バルマス」は度見事がある。お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

◎「バルマス」は度見事がある。お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

◎「バルマス」は度見事がある。お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

◎「バルマス」は度見事がある。お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

◎「バルマス」は度見事がある。お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

◎「バルマス」は度見事がある。お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

◎「バルマス」は度見事がある。お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

◎「バルマス」は度見事がある。お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

◎「バルマス」は度見事がある。お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

◎「バルマス」は度見事がある。お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

◎「バルマス」は度見事がある。お手伝いさん、ノルテの実家に休暇で帰って来た時の土産に、このツツを持って来た。勿論死んでいたが硬い甲羅があつて痛々しかった。食べられると事であつたがとてツツの生きた生きたと詠めたい。動物の貴重な句であつた。

餅焦がす夫の想ひは余辺にあり

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

餅焦がす夫の想ひは余辺にあり

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

餅焦がす夫の想ひは余辺にあり

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」
◎「餅焦がす夫の想ひは余辺にあり」

ロシア政治経済ジャーナル

中国経済急転直下の背景

危機の真因は習近平への失望？

2月22日版 モスクワ在住 北野幸伯

中国経済が急に悪くなったのは、「習近平改革への失望が原因」だ。そうです。

中国経済、「もうダメだ」というのが、世界的コンセンサスになっていきます。

ソロスは、「ハードランドディングは不可避だ」と宣言した。

ジム・ロジャースは、「リーマンショック時よりもっとひどくなる」と宣言した。

中国は、世界2位の経済大国。

中国の危機が世界に波及し、日本も相当厳しい状況になってきています。

それにしても、この「急転直下」は为什么呢？

去年3月、日本以外の親米諸国は、アメリカを裏切って「AIB」への参加を決めた。

つまり当時は、「中国のAIBに入っておけば、儲かるぞ!!!」と、どの国も思っていた。

だから、親米イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、イスラエル、オーストラリア、韓国等々が、遠慮なくアメリカを裏切った。

しかし、1年経とうと



キャメロン英首相と蜜月の握手をする習近平中国国家主席(15年10月21日、ロンドン。Foto: Georgina Coupe/The Prime Minister's Office)

もちろん、RPE読者の皆さんは、こうなることとお見通しでした。

今起こっていることは、「AIB事件」で覇権を中国に奪われつつあることを自覚したアメリカの、「リベンジ戦略」が大きく関わっているのです。

(詳細はこちら) → <http://diamond.jp/articles/-/70786>

●リベンジAIBで中国に追い詰められた米国の逆襲

実際、「AIB」事件後、アメリカメ

する現在、なんと大きく変わってしまったこと。ディアで「中国崩壊論」を見かけない日はありません。

「事実」が「情報」として出てくるのは、一般的です。

しかし、「一方で、「情報」が「事実」をつくる」のも、また普通。たとえば、有名エコノミストが、「〇〇社は、かなりヤバいらしい」といえる。

昨日までなんの問題もなかった会社の株でも、暴落するでしょう。

アメリカで起こっていること、アメリカが起していることは、まさにそれです。

さて、ウォール・スト

6%に近いと予想しているが、中国は依然として他の主要国の大半を上回るペースで成長している。

銀行には預金が大量にあり、政府にはまだ財政力がある。失業は低水準だ。

なんと「エコノミストの多くは実際の成長率が6%に近いと予想している」。

私の知る限り、エコノミストの多くは、「せいぜい3〜4%だ」といっていた気がしますが、今いずれにしても、「今のリアクションは、ちよつと悲観的すぎないか?」と疑問をもっているわけだ。

記事は、『その真因』を分析します。

《今回、驚くほど悲観的なムードに転じた理由は、経済のパフォーマンス以外のところにある。基本的には中国指導部、つまり、経済運営の手法が理由だ》(同上)

《基本的には中国

WSJ「改革をやる気がない」

指導部、つまり経済運営の手法が理由だ」と。

どういことでしょうか?

《習主席は広範な改革を公約した。

トウ小平氏に比肩する改革路線を打ち出す習主席は、中国が投資主導から消費主導の成長に転換する中、国家の役割を縮小し、市場に「決定的な役割」を与えるために60項目の計画を発表した》(同上)

これは、なんでしょう?

2013年11月9日

12日、共産党第18期中央委員会第3回全体会議(三中全会)が開かれました。

ここで「60項目の改革案」が示されたので、主な内容は、

- ・私有財産権の保護
- ・国有独占企業の民営化
- ・民間資本の市場参入を容易にする
- ・企業登録の簡素化
- ・農村の都市の市場化
- ・中国金融市場を開放する
- ・戸籍改革(農民の都市部移動を容易にする)

「格差是正(低所得者層の所得を増加させる)」

・一人っ子政策の見直しなど。

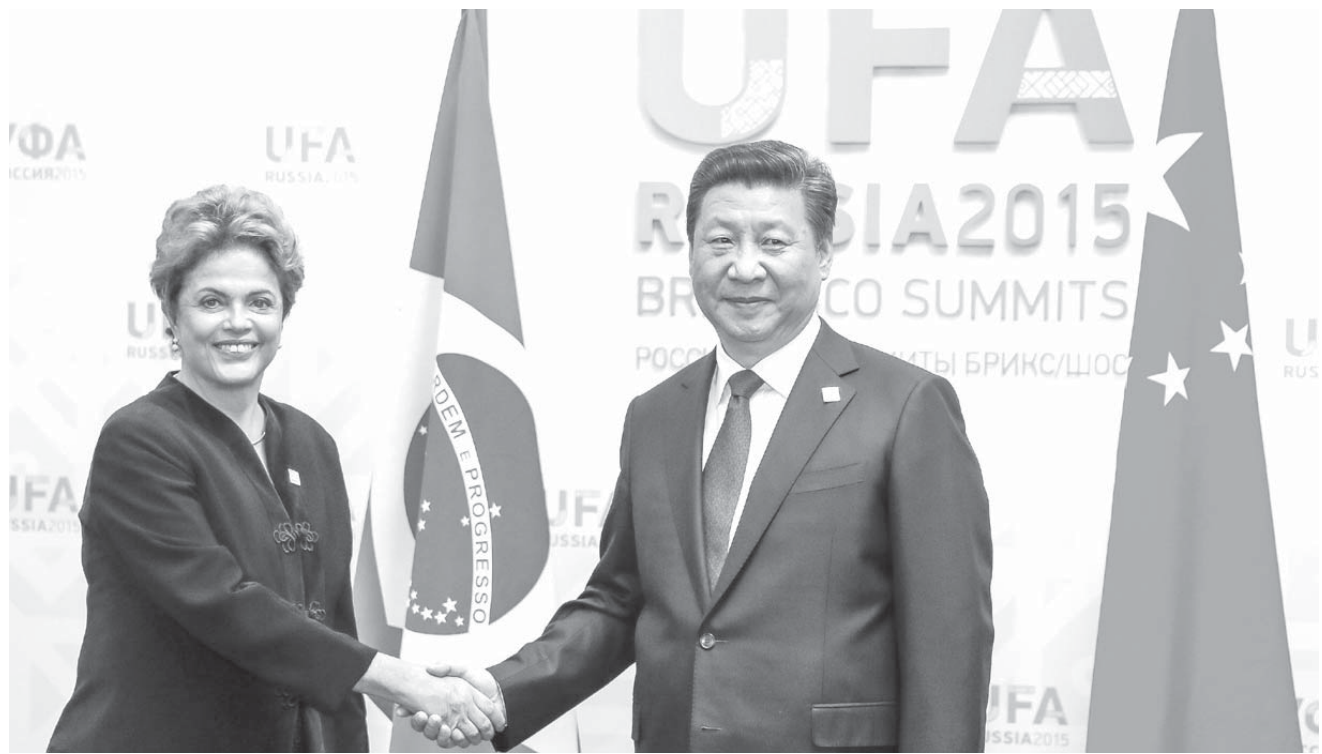
要するに、欧米企業や投資家が喜ぶ「改革案」が発表された。

習近平政権への期待は、高まりました。

ところが、

《習政権は10年の任期の4年目に突入しているが、改革の大部分は棚上げとなっている。

中国からの資本流出



ジウマ大統領と会談する周国家主席(Brics会議、15年7月9日、ロシア。Foto: Roberto Stuckert Filho/PR)

《習主席は当初の大言壮語とは裏腹に、市場に限定的な役割しか求めているのだ。

昨年夏、政府が誘発したバブル崩壊で上海株式市場が急落した際に荒っぽく介入で救済に動いたことでも明らかだが、市場原理への道を明らかに逆行する例がいくつもあった。

当局は、証券会社に株式購入を強制し、大口投資家の売りを禁止した上に、市場の混乱は投機筋や報道機関、さらには「敵対的な外国勢力」のせいだと批判した》(同上)

つまり、WSJは、「習近平は、そもそも改革をやる気がない」と指摘している。

《習主席は10兆ドルを超える規模の経済のかじ取りで、はるかに複雑な課題に数多く直面している。

だが、習主席がこれまでに講じた果敢な措置から、同氏が経営工学と国家計画を通じて経済の方向を事実上まだコントロールできると考えていることがうかがえる。

その好例が、政府系企業を合併し、さらに強力な独占企業を作り出すという習主席の手法だ》(同上)

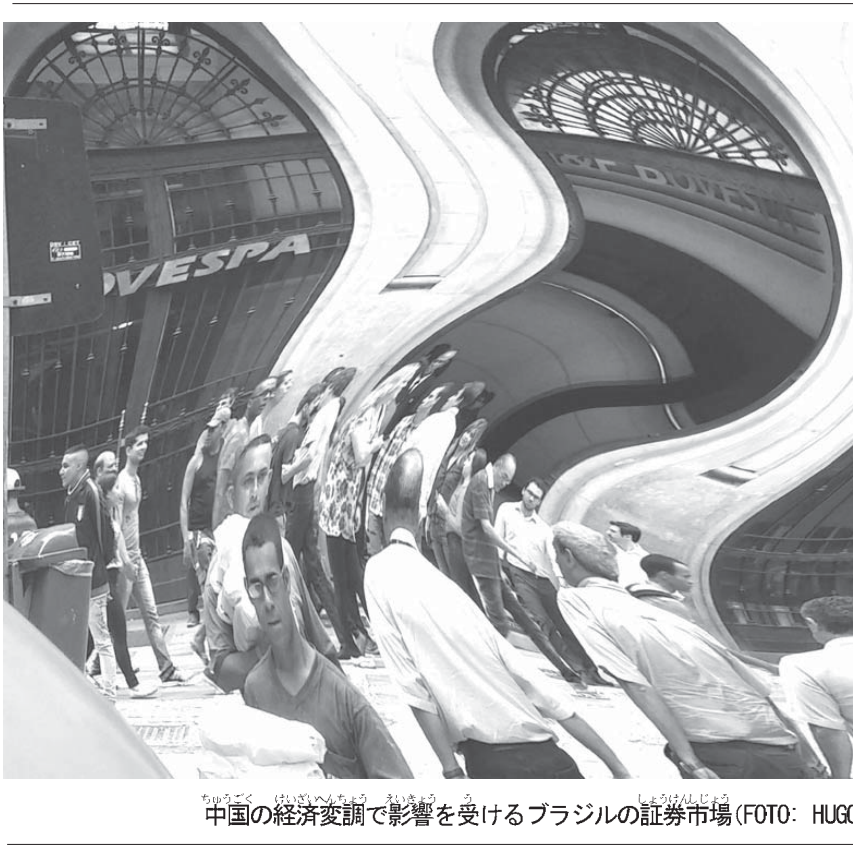
こうした強大な企業への投資を民間企業に認めず、計画はあまり進んでいない》(同上)

「ここでつまり、改革を進めるどころか、逆のことをやっている」と。

「国営企業を民営化するのではなく、国営企業を合併させて、さらに強力で、状況改善を期待できるような説得力のある説明がないため、投資家はますます厳しい結論に達しつつある。

それは、習政権は改革に関しては構想通りに進めることができなくなっている、というものだ》(同上)

投資家が、「習近平を見放しつつある」ということですね。



中国の経済変動で影響を受けるブラジルの証券市場(FOTO: HUGO ARCE/Fotos Publicas)

「欧米企業や投資家の願う改革を習近平は実行していない」

これについて、どう考えるべきでしょうか?

欧米は、中国ではなく、世界の未来を予測できるようにする必要があります。政治家、経営者、起業家、ビジネスマン必読!

「3刷決定!」

●「日本人の知らない」クレムリン・メソッド」

世界を動かす11の原理」(集英社インターナショナル、北野幸伯著、詳細は→ <http://rec.suamin.com>)

大鏡餅持ち上げ力比べ

醍醐寺で「五大力さん」

【共同】京都市伏見区の醍醐寺で23日、特大の鏡餅を持ち上げた時間競争が行われ、接岸が最も遅かった91年2月21日の記録を更新した。

午前9時40分ごろ、気象台の屋上から、流水の接岸を確認した。2月に冬型の気圧配置が続かず、北風が吹かなかつたことで、接岸が遅れたという。昨年より20日、昨年より34日遅い。

網走市では、流水が肉眼で見える「流水初日」を、昨年よりやや遅い1月28日に観測していた。

89年には、接岸が確認されなかった。

WSJの記事は、「習は外国企業や外国投資家を喜ばせる政策をしないので、失望され、企業や外資が逃げ出している」という事実を指摘しています。

というわけで、中国経済、ますます危機は深刻化していきそうです。

そして、世界もひきずられて厳しい時代に突入していきま

私たちが、がんばって、乗り切っていきま

しょう。



京都市伏見区の醍醐寺で「餅上げ力奉納」が行われ、参加者が特大の鏡餅の持ち上げに挑戦し、会場から声援や拍手が送られた



9)が優勝した。最も遅い「流水接岸初日」北海道網走、記録更新

大小の流水を押し分け、美しい航跡を描く観光砕氷船

高速撥扱きとどよめき

津軽三味線に伯人ファン2千人

ザンバ 合奏まで披露

日本の津軽三味線デュオ「吉田兄弟」の来伯公演が聖市のセルジオ・カルドソ劇場で20、21日に行われた。同デュオは、民謡以外の幅広い楽曲を演奏することで知られ、日本国内に留まらず海外でも活躍している。計3公演で集まった観客2千人以上は、高速の撥扱きに思わず息を呑んだ。当地の愛好家も憧れの目線で見守る中、アンコール含む10曲を演奏、最後は「三味線サンバ」で締めくくった。「TAKO ART」が主催。伯国文化省が後援。



太鼓隊とパテリアと共に演奏する吉田兄弟(21日撮影)

北海道登別市の出身の兄・良一(57歳)と弟・健一(55歳)は、共に5歳で三味線を始め、数々の大会で優勝した後、99年に「吉田兄弟」としてアルバム「いぶき」でデビュー。以来、日本の有名音楽賞を受賞し、楽曲がテレビCMに起用される等、邦楽界の分野に留まらない活躍をしている。海外でも知名度が高く、特に米国では数年に一度コンサートツアーを行うほどの人気だ。

前座には和太鼓グループ「生」と聖市のサンバグループ「メニノス・ド・モルンビー」も出演。最後は総出演で、パテリア(打楽器隊)とダンス、和太鼓と三味線のコラボ「三味線サンバ」となり、会場総立ちの歓声が送られた。

これまでロックバンド、ダンスグループ、アイドル等、数々の競演をしていた中でも、地響りのようなパテリアの音は新鮮だったようで、兄弟は負けじと力強い演奏を見せた。真剣な表情が緩み、徐々に笑顔になりながら計10曲の舞台は幕切れとなった。

公演前の記者会見で本紙が、「当地には大勢の三味線愛好者がいる。その前で演奏する心境はどうか」と質問すると、「以前からブラジルで演奏しているのは知っているんですけど、中々訪れる場所ではなかった。民謡と違って、ここでは手動が分らないほどの撥扱きに、歓声というより、どよめ

きが上がった。前座には和太鼓グループ「生」と聖市のサンバグループ「メニノス・ド・モルンビー」も出演。最後は総出演で、パテリア(打楽器隊)とダンス、和太鼓と三味線のコラボ「三味線サンバ」となり、会場総立ちの歓声が送られた。

このサークスは日本でも有名で、東京で明治天皇皇后陛下がご覧になる天覧の栄誉に浴している。《明治十九十二年頃には日本各地、上海、香港、マカオ、シンガポール、インドなどの東洋方面を主に巡業していたが、ブラジルで巡業

を終え、同国王ドン・ペドロの個人教師となり、リオ・デ・ジャネイロで没した(字鑑「一九七四年十二月号」)にその研究成果が発表されている(「サトウ」17頁)と書かれている。つまり、チャリニの「チャリニ同行説」は可能性が高そうだ。

この翌年10月からはブラジル巡業をしており、その時にリオ・デ・ジャネイロで没したとされている。その時にリオ・デ・ジャネイロで没したとされている。その時にリオ・デ・ジャネイロで没したとされている。

「1874年の訪日時に万次が同行して渡伯したのならば、当地は帝政であり、自然であり、合点がいく。1874年の訪日時に万次が同行して渡伯したのならば、当地は帝政であり、自然であり、合点がいく。

「1874年の訪日時に万次が同行して渡伯したのならば、当地は帝政であり、自然であり、合点がいく。1874年の訪日時に万次が同行して渡伯したのならば、当地は帝政であり、自然であり、合点がいく。

「1874年の訪日時に万次が同行して渡伯したのならば、当地は帝政であり、自然であり、合点がいく。1874年の訪日時に万次が同行して渡伯したのならば、当地は帝政であり、自然であり、合点がいく。

「1874年の訪日時に万次が同行して渡伯したのならば、当地は帝政であり、自然であり、合点がいく。1874年の訪日時に万次が同行して渡伯したのならば、当地は帝政であり、自然であり、合点がいく。

観客で一杯の会場に二人はトレードマークの袴姿で登場。上が白、下が赤のいでたちが、スポットライトによく映えた。日本伝統の津軽三味線を使うが、奏でる音楽はロック調やチエロ曲「鳥の歌」をアレンジしたものなど、様々ではなかった。津波が速いことが特徴の津軽三味線。その代表曲「津軽じょんがら節」では手の動きが分らないほどの撥扱きに、歓声というより、どよめ

き上がった。前座には和太鼓グループ「生」と聖市のサンバグループ「メニノス・ド・モルンビー」も出演。最後は総出演で、パテリア(打楽器隊)とダンス、和太鼓と三味線のコラボ「三味線サンバ」となり、会場総立ちの歓声が送られた。

これまでロックバンド、ダンスグループ、アイドル等、数々の競演をしていた中でも、地響りのようなパテリアの音は新鮮だったようで、兄弟は負けじと力強い演奏を見せた。真剣な表情が緩み、徐々に笑顔になりながら計10曲の舞台は幕切れとなった。

公演前の記者会見で本紙が、「当地には大勢の三味線愛好者がいる。その前で演奏する心境はどうか」と質問すると、「以前からブラジルで演奏しているのは知っているんですけど、中々訪れる場所ではなかった。民謡と違って、ここでは手動が分らないほどの撥扱きに、歓声というより、どよめ

きが上がった。前座には和太鼓グループ「生」と聖市のサンバグループ「メニノス・ド・モルンビー」も出演。最後は総出演で、パテリア(打楽器隊)とダンス、和太鼓と三味線のコラボ「三味線サンバ」となり、会場総立ちの歓声が送られた。

これまでロックバンド、ダンスグループ、アイドル等、数々の競演をしていた中でも、地響りのようなパテリアの音は新鮮だったようで、兄弟は負けじと力強い演奏を見せた。真剣な表情が緩み、徐々に笑顔になりながら計10曲の舞台は幕切れとなった。

公演前の記者会見で本紙が、「当地には大勢の三味線愛好者がいる。その前で演奏する心境はどうか」と質問すると、「以前からブラジルで演奏しているのは知っているんですけど、中々訪れる場所ではなかった。民謡と違って、ここでは手動が分らないほどの撥扱きに、歓声というより、どよめ

きが上がった。前座には和太鼓グループ「生」と聖市のサンバグループ「メニノス・ド・モルンビー」も出演。最後は総出演で、パテリア(打楽器隊)とダンス、和太鼓と三味線のコラボ「三味線サンバ」となり、会場総立ちの歓声が送られた。

これまでロックバンド、ダンスグループ、アイドル等、数々の競演をしていた中でも、地響りのようなパテリアの音は新鮮だったようで、兄弟は負けじと力強い演奏を見せた。真剣な表情が緩み、徐々に笑顔になりながら計10曲の舞台は幕切れとなった。

公演前の記者会見で本紙が、「当地には大勢の三味線愛好者がいる。その前で演奏する心境はどうか」と質問すると、「以前からブラジルで演奏しているのは知っているんですけど、中々訪れる場所ではなかった。民謡と違って、ここでは手動が分らないほどの撥扱きに、歓声というより、どよめ

きが上がった。前座には和太鼓グループ「生」と聖市のサンバグループ「メニノス・ド・モルンビー」も出演。最後は総出演で、パテリア(打楽器隊)とダンス、和太鼓と三味線のコラボ「三味線サンバ」となり、会場総立ちの歓声が送られた。



軽装師竹沢万次の謎を追う

第10回 サークスに見る目録交流史

ロベス論文によれば、チャリニの第一回南米巡業では、西暦から北緯して1871年、72年に南大河州、リオ・バイア、ペルナンブコ、パラナと北上した。第2回南米巡業では1875年10月、77年5月にほぼ同様のルート

を逆に南下した。ブラジル帝政末期の海岸部の主要都市を巡るために

その間、日本には1870、80年代になんと3回(一も巡業)上陸している。第一回目は1874年9月(同論文5頁)、第二回目1886年6月、第三回目1889年5月だ。特に74年の後はペ

ルートをたどった。1880年代は北米とアジア、極東を中心に巡業し、南米には来なかった。最後1890年代にチリ、ペルーなど長期の第3回南米巡業をしている。でも、なぜか、この時

にはブラジルに寄らず、太平洋側を北上して1897年4月にパナマでジゼッペ・チャリニは

も万次が、この時に一座に同行すれば、まっすぐに伯国へ来た訳だ。第2、3回目は同じアジア巡業で2回立ち寄った形だ。

このサークスは日本でも有名で、東京で明治天皇皇后陛下がご覧になる天覧の栄誉に浴している。《明治十九十二年頃には日本各地、上海、香港、マカオ、シンガポール、インドなどの東洋方面を主に巡業していたが、ブラジルで巡業

を終え、同国王ドン・ペドロの個人教師となり、リオ・デ・ジャネイロで没した(字鑑「一九七四年十二月号」)にその研究成果が発表されている(「サトウ」17頁)と書かれている。つまり、チャリニの「チャリニ同行説」は可能性が高そうだ。

この翌年10月からはブラジル巡業をしており、その時にリオ・デ・ジャネイロで没したとされている。その時にリオ・デ・ジャネイロで没したとされている。

「1874年の訪日時に万次が同行して渡伯したのならば、当地は帝政であり、自然であり、合点がいく。1874年の訪日時に万次が同行して渡伯したのならば、当地は帝政であり、自然であり、合点がいく。

「1874年の訪日時に万次が同行して渡伯したのならば、当地は帝政であり、自然であり、合点がいく。1874年の訪日時に万次が同行して渡伯したのならば、当地は帝政であり、自然であり、合点がいく。

南樹と符号するチャリニ同行説

入って当地に居つたの記述とかなりつじつまが合えば、鈴木南樹の

鈴木南樹が描く「竹沢万次」と、チャリニの「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。



チャリニ曲馬団、2度目の南米縦断公演のルート(ロベス論文)

02-1875 a 1877 - Brasil, de 09/10/1875 a 05/1877.
05-1879 - Costa Rica, no mês de janeiro.
04-1878 - Peru.
03-1877 - Argentina, de 15 de maio a 23 de outubro.

鈴木南樹が描く「竹沢万次」と、チャリニの「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。南樹がいう「1870年頃」に相当する。

n kenko hirose
健康食品
プロポリス・アガリクス専門店
日本への発送もしております。
Rua Barão de Iguape, 208 - Liberdade - São Paulo
(ハロン・デ・イグアペ街とガルボン・アエノ街の角)
Tel: (11) 3271-5608 - Fax: (11) 3271-5716
E-mail: kenkohirose@uol.com.br

いろんな痛みと病気に鍼灸 ACUPUNTURA
Dr. MONICA Y. MORISHITA
電気鍼療法 もぐさ レーザー
Biomédica 生物医科学
Pós-Graduação em Acupuntura
大学院で鍼灸学を専攻いたしました 磁石による治療
LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95-M (Iwate-kenjinkai)
Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)
contato: (11)99236-3956 (11)2639-0572
E-Mail: monicamorishita@yahoo.com.br

HANDA & HANDA - ADVOCACIA
Dr. PEDRO HANDA
Rua da Glória, 332 - sala 51
Liberdade - São Paulo - SP
Tel. 3271-0806 - Cel. 98208-3650
ATENDO EM JAPONÊS

ニッケイ新聞 (11) 3340-6060
NIKKEY SHIMBUN
【営業時間】
月曜～金曜日: 祝日を除く 午前9時～午後4時
01510-000 - Rua da Glória, 332
Liberdade - São Paulo - SP
購読: nikkeyshimbu@yahoo.com.br
広告: anuncio@nikkeyshimbu.jp

死亡通知並びに会葬御礼
夫 永田敏正 (七十五歳) 儀
病氣療養中の処葉石の効なく、去る一月二十七日午後四時、永眠致しました。葬儀は翌二十八日、メモリアル・パウリスタ公園内の火葬場にて執り行い茶毘に付しました。生前御友誼を賜りました皆様方に謹んでお知らせ致します。
二〇一六年二月二十五日
喪主 妻 永田 英子
尚、四十九日の法要を左記の通り執り行いますので、知友の皆様様に謹んでお知らせ致します。
【日時】三月六日(日) 午前十時
【場所】Praça S. G. I. 三世安徳堂
Estrada Professor Tsunessaburo Makiguti s/nº - Itapavi - SP
TEL: (11) 4192-1002

VIAÇÃO GARCIA
Diminuindo Distâncias. Aproximando Pessoas.
LONDRINA / SÃO PAULO
Saída Freqüência Chegada Prevista
13:00hs. Diário 19:35hs. Double Class
23:00hs. Diário 05:35hs. Double Class
23:40hs. Diário 06:15hs. LD
SÃO PAULO / LONDRINA
Saída Freqüência Chegada Prevista
10:30hs. Diário 17:40hs. Double Class
15:00hs. Diário 22:55hs. LD
23:00hs. Diário 05:35hs. Double Class
MARINGÁ / SÃO PAULO
Saída Freqüência Chegada Prevista
22:30hs. Diário 06:45hs. LD
SÃO PAULO / MARINGÁ
Saída Freqüência Chegada Prevista
21:45hs. Diário 06:00hs. LD
INFORMAÇÕES: 0800 400 70 90
www.viacaogarcia.com.br

インターネット
サイト限定
編集部7ログも!
ニッケイ新聞の
ニュースを
一足先にチェック

www.nikkeyshimbu.jp
ニッケイ新聞の
ニュースを
一足先にチェック

